

生駒市長 山下 真 殿

## 独自目標達成状況についての意見書

平成26年7月2日

生駒市環境マネジメントシステム推進会議

監査専門チーム会議

代表 楠下 孝雄

副代表 小宮山 豊

### 1. 達成状況の確認実施日時

平成26年7月3日（水） 13:00～14:00

### 2. 確認対象

生駒市コミュニティセンター202号会議室

### 3. LAS-E 確認内容

【独自目標（平成25年度実績）監査】

第1ステージ No.12, No.23, No.30

第2ステージ No.12, No.21, No.30

### 4. 確認結果（別紙のとおり）

第1ステージ No.12 : △ No.23 : ○ No.30 : ○

第2ステージ No.12 : ○ No.21 : ○ No.30 : ○

## 5. 所見

LAS-E 独自目標の平成 25 年度実績の部門別評価として、

第 1 ステージについては、1) エコアクション部門は△、2) エコマネジメント部門は○、3) エコガバナンス部門は○ と判断いたしました。

第 2 ステージについては、1) エコアクション部門、2) エコマネジメント部門、3) エコガバナンス部門のすべてを○ と判断いたしました。

### 1. 第 1 ステージ

1) エコアクション部門は、エネルギーでは 7 項目中 4 項目が目標を達成できませんでした。エネルギー全体の合計指標である二酸化炭素排出量は目標値 10.8%削減（実数では 807t と目標値の 810t をわずかに未達だが）をちょうど達成していることと、エネルギー以外では紙の使用量だけが増加し目標を達成できませんでした。特殊事情があったことを勘案して、全体として△の評価としました。

個別に見ると、エネルギーではガソリン、軽油、都市ガス、LPG で未達成となっておりますが、エネルギー消費全体に占める割合は小さく、割合が大きい電気は 10%削減の目標に対し 10.5%削減し、目標を達成できています。エネルギー以外では紙の使用量が 4.0%の増加となり、目標を達成できませんでした。これは環境政策課（現環境モデル都市推進課）において、環境政策の見直しなどで紙の使用量が増えたといった特殊事情があったとのこと。しかし、全体を統括する事務局自身であることから、今後事前に把握し何らかの工夫・対応が必要と思います。

2) エコマネジメント部門は、推進本部による点検回数も環境施策研修の実施回数も昨年度は目標に至りませんでした。今年度はいずれも目標を達成しており、改善が見られました。

3) エコガバナンス部門は、情報公開に関する数値目標を昨年度より引き上げましたが、目標を達成することができたことを評価したいと思います。

### 2. 第 2 ステージ

1) エコアクション部門は「竜田川いいとこさがしツアー」の開催が未達成になりましたが、これは実施時期を 3 月から 4 月に変更したためであり、その準備は平成 25 年度内に実施されていることから実質的には○と評価しました。その他の項目はすべて目標を達成しました。

2) エコマネジメント部門は、昨年度未達成であった環境基本計画の重点プロジェクトの進捗に関する数値目標は達成となり○評価となりました。なお、見直しされた環境基本計画の進捗が実質的な効果をあげるように、各部門の本来業務と連携した取り組みとしてさらに改善する余地があると思われま。

3) エコガバナンス部門は 4 項目すべてで目標を達成しました。特に環境に関するイベントを市民と協働して開催する目標は年 1 2 回以上の目標に対し、実績が 28 回と大幅に上回っています。このことは市民とのパートナーシップで環境施策・事業を実施していこうという姿勢の表れであり、大いに評価できます。今後も市民との協働に関する意欲的な数値目標を設定し、環境政策を推進されることを期待します。

別紙 生駒市環境マネジメントシステム 平成25年度実績と評価

ステージ	部門	目的	項目	平成25年度目標	平成25年度目標値		平成25年度実績値			目標の達成状況	総合評価	
						削減目標		削減実数				
								二酸化炭素換算 (t-CO <sub>2</sub> )				
第1ステージ	エコアクション部門	地球温暖化の防止	二酸化炭素排出量の削減	市の事務・事業から排出される二酸化炭素排出量の総量を平成22年度比で10.8%以上(平成18年度比15.2%)削減する。	-10.8%	810t-CO <sub>2</sub>	-10.8%	807 t-CO <sub>2</sub>	807	△	△	
			電気	電気使用量を平成22年度比で10.0%以上削減する。(相当)	-10.0%	1,507千kWh	-10.5%	1,582千kWh	561	○		
			ガソリン	ガソリン使用量を平成22年度比で6.0%以上削減する。(相当)	-6.0%	4,658 l	-5.7%	4,456 l	10	×		
			軽油	軽油使用量を平成22年度比で60.0%以上削減する。(37,576 l相当)	-60.0%	37,576 l	-59.9%	37,542 l	97	×		
			都市ガス	都市ガス使用量を平成22年度比で21.0%以上削減する。(52,181kg相当)	-21.0%	52,181kg	-16.9%	41,993kg	135	×		
			重油	重油使用量を平成22年度比で増加させない。	—	—	-0.5%	1kl	4	○		
			灯油	灯油使用量を平成22年度比で増加させない。	—	—	-3.5%	1kl	3	○		
			LPG	LPG使用量を平成22年度比で増加させない。	—	—	2.2%	▲1t	▲3	×		
			循環型社会の構築	紙類使用量	OA用紙の使用量を平成24年度比で増加させない。	—	—	6.8%	▲3,694 kg	—		×
			健全な水循環	水使用量	水使用量を平成24年度比で増加させない。	—	—	-13.3%	38,335 m <sup>3</sup>	—		○
第1ステージ	メエント部門	推進本部の点検評価回数	環境マネジメントシステムの進捗状況を環境マネジメントシステム推進本部で年2回以上点検評価します。 ※7月頃:前年度の取組結果を踏まえた点検評価 ※10月頃:夏の節電の取組を踏まえた点検評価	2回	—	2回	—	—	○	○		
		環境施策研修の実施回数	環境マネジメントシステムやその他環境に関する研修を年4回以上実施します。	4回	—	5回	—	—	○			
	ナエント部門	情報公開に関する数値目標	環境情報を広報やホームページで年24回以上提供します。	24回	—	28回	—	—	○			
第2ステージ	エコアクション部	基本計画の重点プロジェクトの推進	「取り戻そう子どもが願う竜田川」	ECO-net生駒と協働して、竜田川いいとこさがしツアーを年に1回実施します。	1回	—	0回	—	—	×	○	
			「環境にやさしい売り方・買い方を推進する生駒」	竜田川本流の水質測定結果について、観測地点4地点のうち1地点で、BODの年間平均値を5mg/l以下とします。	1地点	—	1地点	—	—	○		
			「みんなで作る緑潤うまち」	ECO-net生駒と協働して、「環境にやさしい売り方・買い方」に関する事業者との協議を年2回開催します。	2回	—	2回	—	—	○		
			「太陽光発電応援団」	ECO-net生駒により、みどりのカーテンコンテストを年に1回開催します。	1回	—	1回	—	—	○		
	エント部門	環境特性の把握に関する数値目標	地域の環境特性(大気、水質等)及び二酸化炭素排出量を年に1回とりまとめ、課題を明らかにします。	1回	—	1回	—	—	—	○	○	
		環境基本計画の重点プロジェクトの進捗に関する数値目標	環境基本計画の重点プロジェクトの進捗状況を年に1回以上照会し、推進本部で点検評価します。	1回	—	1回	—	—	—	○		
	エコガバナンス部門	環境施策への市民参画に関する数値目標	環境施策への市民参画に関する数値目標	ECO-net生駒により、環境に配慮する市民やリーダーを育成するための養成講座を年に1回開催します。	1回	—	1回	—	—	○	○	
			環境に関するイベントを市民と協働して年12回以上開催します。	12回	—	28回	—	—	○			
			生駒市又はECO-net生駒が開催するイベントに生駒市民の総人口の10分の1(12,096人相当)に参加していただきます。	12,096人	—	13,017人	—	—	○			
			環境をテーマにした市民との意見交換会を年に1回以上開催します。	1回	—	2回	—	—	○			
ECO-net生駒の環境活動内容について、年に1回とりまとめ、「生駒市の環境」で公開します。	1回	—	1回	—	—	○						